

産地パワーアップ事業

都道府県事業評価

都道府県名 大分県

1 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状			目標			実績			事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考										
						年度	面積	生産量、出荷量 単位 又は処理量	年度	面積	生産量、出荷量、 単位 又は処理量	年度	面積	生産量、出荷量、 単位 又は処理量															
																				単位	単位	単位							
玖珠九重地域農業再生協議会	1	戸畑	水稻	乾燥頭製施設の機能向上により、集出荷コストの削減を図る。	集出荷コストの10%以上の削減	27	37.4円/kg		30	27.7円/kg	180	ha	R3	24.2円/kg	86.5	ha	-	ライスセンターの収支決算報告書による運営経費の年度比較	136.1%	人口減の中、営業努力により顧客数を増加させたことがとても大きい。また、作業数量が前年比141%と大幅に増加したにもかかわらず、経費は、前年比106%増に抑えるなど、経費の削減に努め、目標設定した設計単価(kgあたり経費単価)27.7をクリアしている。目標達成のため、多大な努力をされたと思う。	顧客数の増加と経費削減において多大な努力し、目標を達成したことは評価できる。								
宇佐市農業再生協議会	6	乙女新田地区	飼料用米	大型機械を導入し作業効率を上げ、過期作業による単収向上と作付面積の拡大によりコスト削減を図る。	生産コスト10%以上の削減	27	13,062円/60kg	9.6	ha	61,905	kg	30	11,731円/60kg	17.7	ha	127,082	kg	R3	16,915円/60kg	11.2	ha	55,081	kg	-289.5%	作付面積は、営農計画書等で確認 生産コストは青色申告書等で確認 【現状】 生産費 13,476,480円 生産量 61,905kg 【目標】 生産費 24,847,260円 生産量 127,082kg 【実績】 生産費 15,518,058円 生産量 55,081kg	-289.5%	単収は491kg/10aで昨年度を上回ったが、単収向上のための施肥量の増加および肥料・農薬の価格高騰により経費がかさみ目標未達となった。 次年度は単収を上昇することで目標達成を図る。また、規模拡大については農地集積が進まず当初計画した取組面積には到達しなかった。次年度は農地の提供希望者となる高齢農家に農地の提供を促し規模拡大を目指す。	肥料や農薬の価格高騰により経費がかさんだ実状はあるが、単収の現状は目標よりも低く、単収の向上が課題である。施肥や病虫害防除の過期助行を指導することにより単収向上を図る。また規模拡大についても中間管理機構を活用する等指導する。	

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等 の評価	都道府県の評 価	備考								
					現状						目標						実績																		
					年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 kg	価格(販売単価) 円/kg	生産コスト 円/kg	年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 kg	価格(販売単価) 円/kg	生産コスト 円/kg	年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 kg	価格(販売単価) 円/kg	生産コスト 円/kg	事業実施 前年度								目標年度							
国東市 農業再生協議会	1	国東地区	トマト	生産技術高度化施設の導入により、トマトの周年・計画生産と高品質安定生産、産地強化に取り組む。	販売額の10%以上の増加 (464%以上の増加)	27	総販売額 69,700,000円	2.6	201,400	346	円/kg	30	393,282,000円	5.77	603,542	652	円/kg	R3	4.55 トマト 210,175,576円 2.73 トマト 175,711,100円 107,076,000円 ミニトマト 107,099,576円	422,607 トマト 175,711,100円 246,896 ミニトマト	497 トマト 187,434円 ミニトマト 434	円/kg	円/kg	232,762,977円 トマト 109,537,183円 ミニトマト 123,225,794円	1.062	50.4%	これまでの懸念であった黄化葉巻病は農薬散布の徹底により改善が見られており、収量の安定確保に繋がっている。また、高単価の品種の増加及び新規販路の開拓により目標達成は見込まれる。	黄化葉巻病に対して、新品種の導入や防除技術の徹底により対策を実施している。販売単価が伸び悩んでいるが、単収は順調に伸びている。							
					3	小原地区	かぼす	農産物処理加工施設の導入により、ニーズの高いかぼす果汁の搾汁に取り組む。付加価値を向上させることで、産地の収益力の強化を図る。	販売額10%以上の増加	28	総販売額 38,205,520円	22	374,330	102	円/kg	31	84,761,100円	22	275,506	307	円/kg	R3	43,165,000円	428,227	101	円/kg	287	258	円/kg	1.112	21.2%	樹が成長となり、樹形改良を行ったため、目標収量には届かなかったが今後の安定した収穫のために必須であった。R3年度は販売単価増加に向けて指導の結果、販売単価の上昇が認められた。今後は採果時期を伸ばすことで、収穫量を確保できる。しかし、販売単価としては依然として果汁の需要が供給が一致せず、買取り量が少ないため販売額は目標を下回った。今後は新たな販売先を見つけて、指導の拡大を図り販売額の向上を目指す。	栽培指導等客と見られる。今後は採果時期を伸ばすことで、収穫量を確保できるよう指導する。		
					4	安岐地区	キャベツ	露地野菜産地の形成の推進 ① 機械導入による作業の効率化 ② 安定した需要が見込まれるキャベツの産地強化に向けた高品質・安定供給の取組	販売額10%以上の増加	30	7,371千円	3.5	119.6	61.6	円/kg	3	24,657千円	10.0	400	61.6	円/kg	—	R3	8,186千円	12	261	31	円	—	—	4.7%	春出荷分について、病気の発生により廃棄商品が大量に発生した。今後は殺虫を徹底し収量の回復に努めるよう指導。	出荷伝票や申告書類など販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。	優先枠(ICT)出荷の大部分に対応しているため価格補正なし。	
竹田市 農業再生協議会	1	荻地区	ト・ミニトマト	生産技術高度化施設の導入により、トマトの周年・計画生産と高品質安定生産、産地強化に取り組む。	販売額の10%以上の増加 (29.2%の増加)	27	総販売額 637,663,000円	18.44	2,175	280 ミニトマト 601	円/kg	2	824,070,000円	22.86	2,438	322 ミニトマト 623	円/kg	R3	809,640千円	22.2	2,340	299 ミニトマト 563	円/kg	円/kg	866,463千円	1.062	122.7%	関係機関一体となって指導体制を構築し、単収向上にむけて産地指導を行っている。また、R2年度に大玉トマトにおいて発生拡大したウイルス病(TLLOV)について産地全体での対策を図れたことにより、目標達成できた。	出荷伝票や申告書類など販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。 〔価格補正地域価格根拠〕 青果物卸売市場調査	関係機関一体となって新規就農者の早期経営の安定を目指して指導を行い、病害虫等にも速やかに対応したことで目標を達成できた。	(中心的地産体の取組面積)4,489ha 中山間地域振興向上支援事業との連携事業				

市町村	地域	農産物	内容	販売額(円)	生産量	単価(円/kg)	面積	生産量	単価(円/kg)	総販売額(円)	単価(円/kg)	面積	生産量	単価(円/kg)
宇佐市	宇佐地区	こねぎ	施設野菜(小ねぎ)産地の形成の推進 ①新規就農者の育成により安定供給の取組 ②国内需要の高いこねぎの大規模な産地化及び高品質供給の取組	販売額の10%以上の増加 27	201,576,000円	5.2	210,136kg	959	—	販売額334,499千円	8.9	360,700kg	927	323,085千円
	安心院地区	露地野菜(ジャガイモ)	国内需要の高い加工用ジャガイモの産地化及び高品質安定供給への取組等 ①安定供給の取組 ②国内需要の高い加工用ジャガイモの産地化及び高品質安定供給への取組 ③産地拡大の取組 ④産地拡大の取組	総販売額の10%以上増加 30	9,210千円	8.6	177,616kg	52	—	総販売額13,750千円	10.0	250,000kg	55	326,064千円
	安心院地区	茶	荒茶加工施設の建設 ①安定的な全量出荷の取組 ②国内需要の高い茶の大規模な産地化及び高品質供給への取組 ③産地拡大の取組 ④産地拡大の取組	総販売額の10%以上増加 29	47,616,150円	17.25	53,944kg	883	—	総販売額83,490,610円	49.75	84,590kg	987	45,065,639千円
	西大堀地区	大豆	大型機械等をリース導入し作業効率を上げ、適期作業を行うことによる単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	10a当たり販売額の188.9%の増加 H30	4,853円/10a	18.2	182,000kg	—	—	14,018円/10a	38.8	1,350kg	—	11,891円/10a
	西高家地区	麦	大型機械等をリース導入し作業効率を上げ、適期作業を行うことによる単収向上と作付面積の拡大により高収益化を図る。	10a当たり販売額の14.2%の増加 H30	7,730円/10a	18.4	25,106kg	—	—	8,828円/10a	26.8	49,394kg	—	7,239円/10a



